

報道関係者向け資料

ルーファス：救助、手術、そして回復への歩み



チームの一員と並ぶルーファス。クレジット：Let's Adopt International / Viktor Larkhill

保護から治療までの経緯

ルーファスはセピリアで保護されました。左前脚に十分な体重をかけられず、レントゲン検査で体内に散弾が残っていることが確認されました。チームは傷を処置し、肘の損傷を詳しく検査しました。執刀医は、外傷性脱臼が疑われ、線維化を伴う慢性的な損傷と判断しました。そのため、プレートとスクリューを用いた肘関節固定術が行われました。2026年9月9日時点で、ルーファスはカーサ・グランデに戻り、運動を制限しながら療養中です。完全に回復したとの報告はまだありません。

日本語版作成日：2026年9月19日。原資料は2026年9月10日に作成され、症例の記録は2026年9月9日時点の情報に基づいています。写真の正確な撮影日は確認されていません。

取材用リンク・写真・利用条件

日本語の詳しい症例紹介

<https://letsadoptinternational.com/ja/our-work/rufus/>

関連動画（英語版）

1. 救助と最初の検査

https://www.youtube.com/watch?v=hvMy5UL_SFk

2. 手術前のケア

<https://www.youtube.com/watch?v=oPHtEpr-870>

3. 手術と退院後の様子

<https://www.youtube.com/watch?v=02CghSMcY9M>

写真について

チームの一員と並ぶRufus。症例紹介ページで公開された写真です。

ファイル：rufus-fotografia-publicada.jpeg

画像サイズ：1254 × 1254ピクセル。カメラのオリジナルデータではありません。撮影日は未確認です。

利用条件

この写真は、RufusとLet's Adopt Internationalについての報道用に提供しています。クレジットは「Let's Adopt International / Viktor Larkhill」とご記載ください。撮影時の文脈を保ち、別の日の治療経過を示す写真として使用しないでください。その他の用途や動画の一部の転載については、事前にチームへお問い合わせください。このキットには、動画のオリジナルファイルは含まれていません。

取材・資料のお問い合わせ

症例に関するご質問、Viktor Larkhillへの取材、写真・映像の利用については、媒体名、必要な資料、ご希望の期限を明記してご連絡ください。

info@letsadoptinternational.com

<https://letsadoptinternational.com/ja/contact/>